

Senju Service Manager 2023.0.1

HTML メール連携ガイド

- HTML Email Linkage Guide -

株式会社野村総合研究所

Nomura Research Institute, Ltd.

- 本書は、Senju Service Manager システムバージョン 2023.0.1 が提供する HTML メール連携について使用方法、その他利用上での注意事項等の情報をまとめたものです。
- 本書は、Senju Service Manager システムをインストールまたは利用する前に一読して下さい。なお、万一ご不明な点や記載誤り・漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせ下さい。
- 本書に記載した内容は予告無く変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断でコピーすることは法律で禁止されています。
- Senju Operation Conductor、Senju DevOperation Conductor、EX 千手/EXSENJU、千手/SENJU および e-千手/e-SENJU は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。

Adobe 及び Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。

ORACLE は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Developer/2000 は、米 Oracle Corporation の登録商標です。

Oracle Applications は、オラクル社の商標です。

PostgreSQL は、PostgreSQL の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

iPhone は Apple Inc.の登録商標です。

Mattermost は、Mattermost, Inc. の登録商標です。

Redmine は、Jan Schulz-Hofen 及び Jean-Philippe Lang の商標または登録商標です。

JIRA は、Atlassian Pty Ltd. の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。

その他のすべての会社名や製品名は、それぞれの会社の商標、登録商標または、サービスマークです。

- 本書では、便宜上 Microsoft 社の Windows ファミリーを Windows と表記しています。
また、特に断りが無い場合、Windows NT とは”Windows NT Workstation”, “Windows NT Server”を、Windows 2000 とは”Windows 2000 Professional”, “Windows 2000 Server”, “Windows 2000 Advanced Server”を、Windows XP とは”Windows XP Professional”を、Windows Server 2003 とは”Windows Server 2003 Standard Edition”, “Windows Server 2003 Enterprise Edition”を、Windows Vista とは”Windows Vista Ultimate”, “Windows Vista Business”を、Windows 7 とは”Windows 7 Ultimate”, “Windows 7 Professional”を、Windows 8.1 とは”Windows 8.1 Pro”を、Windows 10 とは”Windows 10 Pro”を、Windows Server 2008 とは”Windows Server 2008 Standard Edition”, “Windows Server 2008 Enterprise Edition”, Windows Server 2012 とは”Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition”を、Windows Server 2016 とは”Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition”を、Windows Server 2019 とは”Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition”, ”Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition”を、Windows Server 2022 とは”Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition”, ”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition”, ” Microsoft Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition ”を指します。
- 本書では、便宜上、Senju Service Manager を SSM、Senju Operation Conductor を SOC、Senju Enterprise Navigator を SEN と表記している箇所があります。また、Senju DevOperation Conductor と Senju Operation Conductor を合わせて Senju Operation Conductor と表記しています。

発行日 2023年 6月 5日

第 1.0.1 版

著作、編集、発行 **株式会社野村総合研究所**

クラウドサービス事業本部 クラウド運用ソリューション事業部

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 4-4-1 横浜野村ビル

Copyright © Nomura Research Institute, Ltd.

本マニュアルの一部又は全部を無断で複製する事を禁じます。

Senju Service Manager 2023.0.1	1-1
1 HTML メール連携	1-5
1.1 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録で HTML メール連携	1-6
1.1.1 リッチテキスト項目への取り込み指定方法.....	1-6
1. テキストメール	1-6
2. HTML メール	1-6
1.2 サンプルルール	1-9
1.2.1 Senju Enterprise Navigator でのルール記載	1-9
1.2.2 HTML メール取り込みサポート対象 HTML フォーマット	1-12
1. メール形式.....	1-12
2. サポート対象文字コード.....	1-12
1.3 制限事項	1-13

1 HTML メール連携

本章では、Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録による HTML メール連携の利用方法を記載します。

1.1 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録でHTML メール連携

Senju Enterprise Navigator からのイベント連携機能を使用することで、データ登録を行うことができます。
※本件マニュアルではHTML メール連携の利用方法を記載します。他の項目を登録する場合はコマンドリファレンスを参照してください。

1.1.1 リッチテキスト項目への取り込み指定方法

1. テキストメール

テキストメールを受信する場合、以下のフィールドにテキストデータを連携することで、リッチテキスト項目に装飾されていないテキスト情報を登録することができます。

指定可能な項目：

画面項目名	フィールド名	指定形式	制限値(byte)
リッチテキスト 1	リッチテキスト 1	全半角	10000000
	リッチテキスト 1 (テキストのみ)	全半角	4000
リッチテキスト 2	リッチテキスト 2	全半角	10000000
	リッチテキスト 2 (テキストのみ)	全半角	4000
経過リッチテキスト	経過リッチテキスト	全半角	10000000
	経過リッチテキスト (テキストのみ)	全半角	4000

2. HTML メール

HTML メールを受信する場合、以下のフィールドに Senju/EN のメールメッセージが保持している指定形式のデータを連携することで、リッチテキスト項目に HTML メールと同様の装飾されたテキスト情報および画像情報を登録することができます。

指定可能な項目：

画面項目名	フィールド名	指定形式	制限値(byte)
リッチテキスト 1	リッチテキスト 1HTML ファイル	HTML ファイルのフルパス	100

	リッチテキスト 1HTMLCharset	HTML ファイルのエンコード	-
	リッチテキスト 1 挿入ファイル	HTML ファイル内のインライン画像のフルパス	100
	リッチテキスト 1 ファイル名	HTML ファイル内のインライン画像のファイル名、文字列型	4000
	リッチテキスト 1Content-ID	HTML ファイル内のインライン画像の Content-ID、文字列型	4000
リッチテキスト 2	リッチテキスト 2HTML ファイル	HTML ファイルのフルパス	100
	リッチテキスト 2HTMLCharset	HTML ファイルのエンコード	-
	リッチテキスト 2 挿入ファイル	HTML ファイル内のインライン画像のフルパス	100
	リッチテキスト 2 ファイル名	HTML ファイル内のインライン画像のファイル名、文字列型	4000
	リッチテキスト 2Content-ID	HTML ファイル内のインライン画像の Content-ID、文字列型	4000
経過リッチテキスト	経過リッチテキスト HTML ファイル	HTML ファイルのフルパス	100
	経過リッチテキスト HTMLCharset	HTML ファイルのエンコード	-
	経過リッチテキスト挿入ファイル	HTML ファイル内のインライン画像のフルパス	100
	経過リッチテキストファイル名	HTML ファイル内のインライン画像のファイル名、文字列型	4000
	経過リッチテキスト Content-ID	HTML ファイル内のインライン画像の Content-ID、文字列型	4000

※サンプルルールは「1.2.1 Senju Enterprise Navigator でのルール記載」を参照してください。



制限事項

使用可能な漢字コードは、第一水準および第二水準、および Windows-31J (MS932) で表示可能な漢字です。



制限事項

HTML ファイルのエンコード (リッチテキスト HTMLCharset) には、Senju Enterprise Navigator 側で解析し取得されたメールのエンコードなどの値を指定してください。

1.2 サンプルルール

1.2.1 Senju Enterprise Navigator でのルール記載



制限事項

本サンプルルールが動作する Senju Enterprise Navigator のバージョンは 2021.0.0.0 以降となります。

HTML メール内の HTML ファイルの数だけ、以下のメールメッセージのプロパティにデータが格納されますので、「1.1.12 HTML メール」の方法の通りにフィールドにデータを指定することで取り込みが可能です。

プロパティ名 (リスト)	プロパティ名	形式
HTML ファイルリスト	出力ファイル名	HTML ファイルのフルパス
mailHtmlCharset	タグ値	HTML ファイルのエンコード
挿入ファイルリスト	出力ファイル名	HTML ファイル内のインライン画像のフルパス
挿入ファイルリスト	挿入ファイル名	HTML ファイル内のインライン画像のファイル名、文字列型
挿入ファイルリスト	Content-ID	HTML ファイル内のインライン画像の Content-ID、文字列型

自動メール取り込みを行う際に SEN ルールでテキストメールか HTML メールかを判別したうえで、メールの情報をリッチテキスト項目に登録するルールのサンプルを以下に記載します。

```
var pd = globalContext.getProducer( "SSM", null );

var fields = new Array();
var vals = new Array();
var actInfo = new Array("イベント送信実行結果");

var t = globalContext.currentTime;
var ymd = t.toString().substr(0, 8);
var hms = t.toString().substr(8, 4);

fields.push("データ種別 ID");
vals.push("01000001");

fields.push("システム");
vals.push("SSM 初期システム");

fields.push("タイトル");
vals.push("EN Rule HTML @ " + ymd + " " + hms);

fields.push("ステータス");
vals.push("新規");

fields.push("起票者");
vals.push("SSM");

fields.push("登録者");
vals.push("SSM");

fields.push("エスカレーション先");
vals.push("SSM");

fields.push("経過内容");
vals.push(currentEvent.prop("メール本文"));

fields.push("経過リッチテキスト (テキストのみ)");
vals.push(currentEvent.prop("メール本文"));
```

```
if( currentEvent.prop("HTML ファイル数") == 0 ){
    fields.push("経過リッチテキスト");
    vals.push(currentEvent.prop("メール本文"));
}else if( currentEvent.prop("HTML ファイル数") > 0 ){
    for (var idhtml = 0 ; idhtml <currentEvent.prop("HTML ファイル数") ;idhtml++ ){
        fields.push("経過リッチテキスト HTML ファイル");
        vals.push(currentEvent.prop2("HTML ファイルリスト", idhtml).prop("出力ファイル名"));
        fields.push("経過リッチテキスト HTMLCharset");
        vals.push(currentEvent.getTagByKey("mailHtmlCharset").prop2("タグ値", idhtml));
    }
    if( currentEvent.prop("挿入ファイル数") > 0 ){
        for (var idimg = 0 ; idimg <currentEvent.prop("挿入ファイル数") ;idimg++){
            fields.push("経過リッチテキスト挿入ファイル");
            vals.push(currentEvent.prop2("挿入ファイルリスト", idimg).prop("出力ファイル名"));

            fields.push("経過リッチテキストファイル名");
            vals.push(currentEvent.prop2("挿入ファイルリスト", idimg).prop("挿入ファイル名"));

            fields.push("経過リッチテキスト Content-ID");
            vals.push(currentEvent.prop2("挿入ファイルリスト", idimg).prop("Content-ID"));
        }
    }
}

for ( var i = 0; i < 1; i++ ){
    var execResult = pd.spAsyncSendEvent( "プロセス管理", fields, vals, null, actInfo );
}
```

1.2.2 HTML メール取り込みサポート対象 HTML フォーマット

1. メール形式

リッチテキスト項目に HTML メールデータを登録する場合、HTML ファイルのエンコード(リッチテキスト HTMLCharset)を指定するか、メールの HTML ヘッダーに「charset」が含まれている必要があります。



リッチテキスト登録時、メールの内容を文字コード「SHIFT_JIS」に変換するために、メール内の HTML ファイルの文字コードを取得する必要があります。HTML ヘッダーに以下のような「charset」がある場合文字コードを取得できます。

```
<meta content="charset=iso-2022-jp">
```

2. サポート対象文字コード

以下に現在イベント連携デーモンでサポートされている「charset」の種類を示します。

これらに該当する場合、HTML メールデータ内の文字はすべて文字コード「SHIFT_JIS」に変換され文字化けすることなく参照できます。

※HTML ファイルのエンコード(リッチテキスト HTMLCharset)では、下記の文字コードしか指定できません。

charset サポート対象
ISO-2022-JP
UTF-8
SHIFT_JIS
US-ASCII



制限事項

上記以外の charset が設定されている HTML データについてはすべて無視しリッチテキスト項目には登録されません。



制限事項

charset が HTML データ内部の文字コードと違う場合には文字化けや登録エラーが発生する可能性があります。

1.3 制限事項

- Outlook から送信した HTML メールについて、メール本文内にインライン画像データが存在しており、かつ、添付ファイルに画像データが添付されていないメールを **Senju Enterprise Navigator** で受信する場合、メール本文内のインライン画像データのファイル情報が、添付ファイルと挿入ファイル両方のフィールドに登録されます。必要に応じて **SEN** ルールで必要なフィールドのみ切り出して利用するようお願いいたします。